

令和5年度県産振「特別生徒研究助成」報告書学校教育と社会教育の連携

～協同による教育活動の実践～

鼎公民館 地域連携事業 ～ずんずんず～ん隊活動報告～

食品化学科 食品製造専攻 3年

小久保納知 鈴木野乃花

三村 琉乃 宮下 千春

山田 彩乃

指導教諭 松澤 公夫

I はじめに

飯田市鼎公民館では、平成13年度に「ふるさと再発見」として、地域の自然・歴史・文化をより深く学習できる取り組みを始めた。地域の再発見を中心に続ける中、平成22年度から地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」として地元の小学生の親子を対象に、遊休農地での農業体験を通して、環境学習および食育の機会とすると同時に人格形成の基盤となる体験や感性を育む機会を目的に活動内容へと変わってきた。

平成31年に、鼎公民館から「ずんずんず～ん隊」で大豆栽培体験事業を一緒に取り組んでいく依頼を受けた。下伊那農業高等学校の生徒が活動の企画・運営を行い、小学生親子に栽培を体験してもらおう。また、中学生にボランティアとしてサポートとして参加してもらおう。この活動を通して、高校生の主体性とそれを支える地域との結びつきを学ぶことができる。また、小・中・高校生の関りや、相互の学びを充実させるとともに、地域の子どもを育む意識の醸成を図ることができる。(表一参照)

表一 1 「ずんずんず～ん隊」の参加者と活動の意義

地域	住民	遊休農地の活用について指導 地元種苗会社 営農指導
	公民館	企画・運営・広報、各種調整
家庭		内容への意見、運営補助、家庭での話し合い
学校	鼎小	チラシ配布
	鼎中	ボランティア参加、生徒の学びの視点提供
生徒・児童	小学生	参加（交流、参加）
	中学生	参画（交流、体験、運営、安全管理など） ボランティア
	高校生	主体的な関り（企画、運営、交流、調査、振り返りなど）

II 目的

- 1 地域にある遊休農地を活用して、農業の良さを再発見するとともに加工品の原料である大豆の栽培に関する知識・技術を身につける。
- 2 活動では、小学生親子の体験を中心に中学生のサポートや公民館・地域の皆さんとの協同活動を通して世代間交流を行う。
- 3 高校生が企画・運営を行うことで、主体的な学びの実践、コミュニケーション能力の向上を目指す。

III 方法

表一2のように課題研究の授業を中心に放課後や休日等で活動を行った。

表一2 活動経過

活動内容	日にち	会場	備考
ずんずんず～ん隊募集	3～4月	校内	課題研究のテーマ設定に合わせて募集 5名の希望があった
顔合わせ及び打ち合わせ	4/21(金)	鼎公民館	R5 実施計画打ち合わせ
現地調査	5/31(火)	一色公民館近く 圃場	地元 本島一色区長さんとの顔合わせ
鼎小学校への案内配布及びプレゼンテーション	7/9(金)	鼎小学校	全校児童にずんずんず～ん隊参加を呼び掛けた

種まき	7/2 (日)	一色公民館近く 圃場	大豆種まき
捕植 除草	7/31 (月)	一色公民館近く 圃場	夏休み 圃場管理
校内圃場収穫 調理実習 に向けて打ち合わせ	11/24 (金)	校内	大豆調整 役割分担・説明準備 調理試作
収穫	11/26 (日)	一色公民館近く 圃場	大豆収穫 鼎公民館へ運搬 乾燥
調理実習 材料準備	12/8 (金)	スーパー	調理実習買い出し 材料仕込み
大豆調整 調理	12/3 (日)	公民館横 鼎公民館調理室	大豆の調整 調理実習

IV 「ずんずんず〜ん隊」の活動状況

1) 7/9 (金) 鼎小学校への案内配布及びプレゼンテーション

[小学生の感想 (抜粋)]



・下伊那農業高校のずんずんず〜ん隊の皆さんが丁寧に教えてくださってずんずんず〜ん隊の皆さんの活動がよく分かりました。

大豆愛、が伝わった。 ずんずんず〜んたいの研究してたこととかが、わかった。

ずんずんず〜んたいにもいきたいとおもったしくさとりしたりだいでおいしいりょうりをつくりたいとおもいました。ずんずんず〜んたいのひとともなかよくなっていいコミュニケーションを言って取れると嬉しいです。だいずのはをみたことなかったのいでいんきょうになりましたもしいくときはいろいろおしえてもらったりいろいろあドバイスをお願いします。

スライドを使って、大豆に含まれる栄養素などの説明を行った。その他にも簡単なクイズを入れるなどして、楽しいプレゼンテーションになるように工夫した。

2) キャラクターづくり



大豆：ソイタ 枝豆：えだ坊

大豆と枝豆のキャラクターを考えた。農業のイメージで、麦わら帽子と農具のスコップ、タオルをみにつけたキャラクターとなった。全体的に丸みのあるフォルムにしてかわいらしさをプラスした。

3) 7/2 (日) 種まき 一色公民館近く圃場にて大豆種まき



最初に画用紙を使って種まきの説明し、その後グループに分かれ、一緒に楽しく種まきをした。

大豆の種まきで注意した点

- ・大豆についての説明を画用紙など使ったりしてわかりやすく工夫した。
- ・畑の横に道路があり危険なので、畑までの移動には安全を考えた。
- ・鍬の使用や灌水用の水くみは、子どもだけで行わないよう高校生と一緒に作業を行った。



最後に記念撮影

4) 播種後の様子と管理作業



播種後の圃場管理（灌水）

発芽の様子

生育の様子

大豆の管理で心がけた点

- ・夏場、乾燥が心配なので発芽まで灌水を心がけた
- ・夏休み中も、分担して除草作業や管理を続けた。
- ・大豆の管理作業（中耕・除草）も一緒に活動を行いたかったが、休日での都合がつかず高校生と鼎公民館での活動となった。今後の活動では、管理作業も入れていきたい。

5) 11/26（日）一色公民館近く圃場にて大豆収穫



たくさんの小学生に参加していただき、スムーズに収穫することができた。

大豆の収穫で注意した点

- ・大豆の根粒菌について画用紙を使ってわかりやすく説明した。
- ・種まきと同様に畑の横に道路があり危険なので、畑までの移動には安全を考えた。
- ・畑で収穫した大豆は、鼎公民館へ移動し、軒先で乾燥した。

6) 12/3（日）大豆調整・調理 鼎体育館横及び鼎公民館調理室で大豆の調整と調理実習



収穫した大豆を乾燥させ、乾燥させたものを踏み、大豆を取り出した。その後、一家族に一人高校生が入り、大豆を使った調理実習をした。

大豆調整 調理実習で注意した点

- ・脱穀作業と調理の準備を分担して行った
- ・調理では、火を扱うので注意して見守った。
- ・小学生が中心となり、高校生は手を出さずに必要に応じて補助を行うことにした。
- ・調理実習終了後に、高校での課題研究の取り組みを参加者に発表した。

V 実施してみたの感想

1) 参加者の感想

お兄さんがこうするんだよと教えてくれた。

高校生との交流がよかった。一緒にやってくれてよかった。

大豆料理をいろいろ知ることができてよかったし、面白かった。

高校生のお姉さんが優しくしてもらってうれしかった。

高校生と大豆の豆まきや大豆料理を作れて楽しかった。

高校生と一緒にできてよかった。普段できない農作業も貴重な体験でした。(保護者)

2) 高校生の自己評価 (多い順)

①小・中・高校生・地域の方など幅広い年代と交流できたこと。

②遊休農地活用・公民館活動など地域活動に貢献できた点。

③多くの人と知り合うことができた。

④大豆栽培が学習できたこと。

⑤有志(希望者)で協力して活動できた点。

⑤課題研究の幅は広がったこと。

VI 考察

今回で、「ずんずんず〜ん隊」としての活動は4年目となる。

地域にある遊休農地を活用している意識を持って活動行うことができた。ただ、食品化学科では栽培に関する知識・技術が他科に比べると少ないなど栽培や説明に苦勞する場面があった。大豆については、説明を行うに当たって下調べをしたおかげで理解を深めることができた。学校圃場でも栽培を行うことで、種まきから調理を通して自分自身も大豆について学ぶことができ、さらに食育活動について学習を深めることができた。

活動では、小学生親子の体験を中心に中学生のサポートや公民館・地域の皆さんと大豆栽培を通して世代間交流を行うことができた。高校生のアンケートで一番の成果に「小・高校生・地域の方など幅広い年代と交流」を挙げている意見が多く、学校内ではできない活動ということを改めて認識できた。

高校生が企画・運営を行うことで、主体的な学びの実践、コミュニケーション能力の向上を養うことができた。企画・運営の中で、小学生との活動の中での気を付ける点など共有して安全に活動を行うことができた。

人前で話したり説明をする機会がなかったが、ずんずんず〜ん隊を通して成長することができた。

ボランティアとして中学生に入ってもらおう予定でいたが、都合がつかず高校生だけの取り組みとなった。今後、大勢のボランティアが参加できる体制が必要となる。

参加した小学生は、何回か参加している子もいて、スムーズに取り組むことができた。

活動は、種まき・収穫・調理と植物が生育している過程をわかってもらえたが、除草作業など一番大変で大切なところが体験できないなど活動回数を増やせばよかった。

活動の主体が公民館で、高校生は企画運営を担当させていただいた。高校生だけではなく、ボランティアとして参加している中学生や保護者、公民館のスタッフ(館長さん、主事さん)、地域の方(区長さんなど)が主体的に活動に参加できる内容をもっと考えていきたい。

1月12日(金)に鼎地区の新春放談会で、ずんずんず〜ん隊の活動報告を行い、地域の方々に地域と高校生との取り組みを知ってもらうことができた。

VII 謝辞

ずんずんず〜ん隊の活動でお世話になった鼎公民館長の笹様、一色区長の本島様、鼎公民館主事の吉川様、いろいろな面でサポートしていただき本当にありがとうございました。

[新聞でみる活動]

大豆播種
みなみ信州新聞掲載 7/4 付

下農生が先生役に 大豆の種まき体験

ずんずん隊 大豆の種まき体験

飯田市の各団休や機関の関係者など約80人が出席。中学生から大人まで、大豆の種まき体験を行いました。



大豆の種まき体験の様子。下農生が先生役に、大豆の種まき体験を行いました。

大豆の種まき体験の様子。下農生が先生役に、大豆の種まき体験を行いました。

大豆の種まき体験の様子。下農生が先生役に、大豆の種まき体験を行いました。

大豆の種まき体験の様子。下農生が先生役に、大豆の種まき体験を行いました。

大豆を用いた調理
みなみ信州新聞掲載 12/5 付

大豆たっぷり4品に挑戦

飯田市の地区の小学生でつくる「ずんずん隊」は3日、大豆を使ったメニュー4品の調理体験をした。

大豆をテーマにした料理を、小学生が調理体験をした。

大豆をテーマにした料理を、小学生が調理体験をした。



高校生が調理をサポートした様子。

大豆をテーマにした料理を、小学生が調理体験をした。

大豆をテーマにした料理を、小学生が調理体験をした。

飯田市鼎地区新春放談会での報告
みなみ信州新聞掲載 1/14 付

新年の抱負や決意語る 鼎地区で新春放談会

飯田市の鼎地区まちづくり委員会は12日、恒例の新春放談会を中平の副文化センターで開いた。地区内の各団休や機関の関係者など約80人が出席。中学生から大人まで、大豆の種まき体験を行いました。



鼎地区の新春放談会

大豆の種まき体験の様子。下農生が先生役に、大豆の種まき体験を行いました。

大豆の種まき体験の様子。下農生が先生役に、大豆の種まき体験を行いました。

大豆の種まき体験の様子。下農生が先生役に、大豆の種まき体験を行いました。

大豆の種まき体験の様子。下農生が先生役に、大豆の種まき体験を行いました。